<table>
<tr><td>種名</td><td>

チ　ュ　ウ　サ　ギ

Egretta intermedia

</td></tr>
<tr><td>分類</td><td>コウノトリ目　サギ科</td></tr>
<tr><td>特徴</td><td>短めのくちばしをした、中形のシラサギ類。アフリカ、アジア、オーストラリアの熱帯から温帯で広く繁殖する。日本には夏鳥として普通に渡来し、本州から九州までの各地で繁殖する。西南日本には稀に残留する物がある。</td></tr>
<tr><td>生活</td><td>水田や湿地で生活し、川の流れの中や干潟に出ることは少ない。餌は昆虫、カエル、アメリカザリガニ、魚などだが、昆虫の占める割合がダイサギやコサギよりやや大きい。コサギ、ダイサギ、アマサギ、ゴイサギとともにサギ山で集団繁殖する。</td></tr>
<tr><td>声</td><td>繁殖地では他のシラサキ類とコロニーを作るので、この鳥だけの鳴き声を聞くことは少ない。いつも「ゴゥーゴゥー」とか「グゥッグゥッ」とやかましく泣き叫んでいる。雛は「ジェッジェッ」と泣き続ける。</td></tr>
<tr><td>見分け方</td><td>夏羽では、くちばしが黒く目先は黄色い。冬羽では、くちばしが黄色く先が黒いことが多い。体の大きさはダイサギとコサギの中間だが、くちばしの長さはコサギより短い。</td></tr>
<tr><td>時期</td><td>

(月)	―	―	―	4	5	6	7	8	9	10	―	―

</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>産卵期は4～8月
全長 (L) 68cm　　翼開長 (W) 114cm</td></tr>
<tr><td colspan="2">参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥</td></tr>
</table>